

承認番号	2026017
課題名	超高齢社会・ピロリ陰性時代における上部消化管の潰瘍・出血病態の調査
研究の意義、目的	わが国では未曾有のスピードで超高齢社会に突入し、様々な疾患構造の変化が起きています。ヘリコバクターピロリ菌感染率の低下と除菌治療の適応拡大に伴い、上部消化管における多様な病態による潰瘍性病変・出血性病変に遭遇する機会も増えています。消化性潰瘍の原因としてはヘリコバクターピロリ感染の他、非ステロイド抗炎症薬（NSAIDs）や低用量アスピリン服用による薬剤性潰瘍が重要ですが、近年では特発性潰瘍と称される原因不明な潰瘍の増加が指摘されています。このような背景の変化を鑑み、高齢社会・ピロリ陰性時代の上部消化管の潰瘍・出血性病変の病態について、その予防・診断・治療法の検討を行うことを目的として、当院でのデータを解析します。
研究期間	実施許可日 ～ 2031 年 3 月 31 日
研究の対象者	2015 年 4 月 1 日～2030 年 3 月 31 日の期間に、当院にて上部消化管内視鏡検査を施行し、消化性潰瘍と診断された方。
利用する試料・情報の種類	診療記録から年齢、性別、身長、体重、嗜好、活動度、基礎疾患、抗血栓薬の有無と種類、胃薬の有無と種類、ヘリコバクターピロリ感染の有無、ヘリコバクターピロリ除菌歴、内視鏡所見、血液検査所見、治療内容、治療結果、病理組織所見、治療後効果判定結果などを取得します。
外部への試料・情報提供	試料・情報は自施設のみで利用しますが、学会等での発表を予定しています。
個人情報の取り扱い	本研究で利用する個人情報に関しては、お名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる情報は利用しません。
試料・情報を管理する責任者	旭川厚生病院 消化器科 医師：田中 一之
本研究の利益相反	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問合せ下さい。 また、情報が当該研究に用いられることについて、対象者もしくは対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも、対象者に不利益が生じることはありません。 連絡先・相談窓口 JA 北海道厚生連旭川厚生病院 消化器科 （担当者氏名） 田中 一之 電話番号：0166-33-7171